

<金標準、FRB の独立性を問う疑心からの信用逃避に動き・・・>



(出所：オアシス)

先週にワイオミング州ジャクソンホールで開催されたFRB年次シンポジウムでパウエルFRB議長は市場の思惑以上のハト派の発言を行い、9月17日に開催のFOMCで0.25%の利下げ確率が90%まで上昇したが、週末に発表されたPCEデフレーターでは、コア前年比が前月の2.8%から2.9%へ上昇しており、利下げの可能性を否定するには至っていない。

またトランプ大統領がクックFRB理事に対する辞任要求が、先週には解任に発展し、トランプ政権の中央銀行に対する介入は市場のFRBに対する独立性を問う動きに発展している。特に週末にワシントン連邦地方裁判所でクック理事の解任の仮差し止め令を巡る緊急審理で仮差し止め令の是非について判断を下さなかったが、9月2日までに理事解任が違法である理由をより詳細に論じた要旨を提出するよう要請しており、市場に不確実性が高まる動きを見せている。特に金標準は解任発言から8連騰を見せて高値を更新しており、9月2日の裁判所の判断を待つ値動きに思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが切り上げながら、シグナルも切り上げている。RCIは短期が上昇し、長期も上昇している。特に日足が平滑移動平均線のレンジを上回るなど強気を示唆していると思え、更なる高値には注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,955,000 円(2025 年 9 月 1 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいと、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復 79,200 円(2025 年 9 月 1 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>